

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都府中市幸町 2-13-29
園名	ぱる★キッズ府中

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感で感じ、生活へ広がる木育活動 ～身近な木との出会いからものづくり体験へ～
(●18種類の積み木・木のメダル)

<テーマの設定理由>

公園にて、木に触れたり、ツルツルした木とザラザラした木があることに気づいたり、皮や枝や切り株など、遊びながら五感を通してたくさんの発見をしてきた。また、かんな節で遊ぶことで木の心地よさにもふれた。もっと身近に、様々な木の感触や匂いや模様、年輪や樹液に触れられたらと思い、様々な木の積み木と木のメダルを展開した。

2. 活動スケジュール

- ① 18種類の木の積み木を使って、遊びながらそれぞれの木の特徴や匂いを感じる。…2月
- ② 別日に木のメダルを渡し、それぞれの木の形が違ったり樹液でべたべたすることに気がついた。…2月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

18種類の木の積み木(様々な種類の木材を使用)・木のメダル(樹液がついているもの含む、形の異なる木製メダル)
公園での自然体験(木の幹・皮・枝・切り株などへの接触環境)

4. 探究活動の実践 ①

<活動の内容>

5. 18種類の積み木…2月

18種類の木の積み木を用意し、それぞれの触り心地や模様、匂いの違いを感じながら遊ぶ活動を行った。子どもたちは積み木についての絵を見て「これどんぐりの絵?」「こっちは桜かな?」と興味を持ち、見た目から想像を広げたり、実際に触ったり匂いを嗅いだりしながら木の性質に触れていた。

また、同じ種類の積み木を集める姿や、「この木好きなの」と自分の好みを伝える姿も見られた。床の模様と見比べて「これは似てるね」「これは違うね」と気づく様子もあった。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- 「ざらざらしてる」「いいにおいがする」など、触覚や嗅覚で違いを感じる
- 「これ好き」と特定の木を繰り返し選ぶ
- 同じ種類の積み木を集める
- 「どんぐり?」「さくら?」と絵から想像を広げる
- 床の模様と見比べて「似てる」「違う」と気づく
- 年輪を見て「何歳?」と興味を持ち、数えてみる

【活動の様子】別紙参照：活動報告書②③ 子どもたちの様子（ヒノキのかんな節と木のおもちゃ）.pdf

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

これまで散歩や公園遊びの中で木に触れる経験をしてきたが、今回のように様々な種類の木に直接触れ、違いを比べられる環境を用意したことで、子どもたちはより深く木の性質に気づくことができたと感じた。

特に、触り心地や匂いといった感覚的な違いや、自分の「好き」という感情に気づく姿が多く見られた点が印象的であった。また、木のメダルを通して樹液の感触や年輪に気づき、木の成長に興味を持つきっかけにもなった。

今後も、身近な自然素材に触れながら、子どもたちの気づきや探究心を大切に活動を進めていきたい。